

まな ばんてん
学びの原点がここにある —

や かんちゅうがく きろくえい が
夜間中学の記録映画



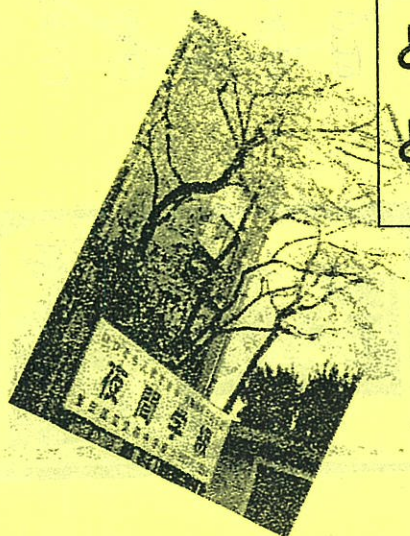
「こんばんは」上映会

へのおさそい

とき：3月9日(日) 午後1時30分上映 ●500円

ところ：かでの 2・7 520号室(中央区北2条西7丁目)

電話 011-204-5100



しゅさい 主催 北海道に夜間中学をつくる会

こうえん 後援 北海道教育委員会、札幌市教育委員会

きようしやくいんくみあい さつほうし きようしやくいんくみあい ほっぎょうそ
北海道教職員組合、札幌市教職員組合(北教組札幌市支部)

みんしゆきよういく どうみんれんごう しみんれんごう
民主教育をすすめる道民連合、民主教育をすすめる札幌市民連合

えいが 映画「こんばんは」について

このドキュメンタリー映画は、山田洋次監督の映画「学校」のモデルの一人である見城慶和先生が教壇に立つ東京都墨田区の文花中学の夜間学級が舞台。その真剣な学びの姿勢に感動した森康行監督が、撮影開始前に1年近くも教室に同席して生徒・先生と交流し、理解と支持を得てからカメラを教室に持ち込んで1年半、様々な授業や行事・催事を、また生徒たちの生活も取材して200時間以上の映像を記録して作りあげたものです。

16歳から92歳まで幅広い世代の、色々な国で生まれ、様々な事情で「教育」を受けられなかった人々が、この日本で生きていく道すがら、どうしても学びたいと熱心に通ってきている姿を追っています。さらに、幾人かの生徒さんの日常生活と心情を映し出していく中で、現代日本のひとつの縮図を明らかにしていきます。

（「こんばんは」全国上映普及委員会のチラシを参照）

学校に来て、こんばんはという
みんなの返事が返ってくる。その
声を聞くと、今までの出来事がよい
事も悪い事も悲しい事もみんな
消えて学校に来た喜びでいっぱい
になってくる。

